

2020年3月31日
株式会社ミライト・テクノロジーズ

3次元自動航行アプリを開発し、ドローンでの設備点検における効率化、高度化を実現

～NTTデータとの協業により、ドローン運航管理用ソフトウェア

「airpalette® UTM (エアパレット ユーティ-ム)」をベースとした設備点検用自動航行アプリを開発～

株式会社ミライト・テクノロジーズ（本社：大阪市西区、代表取締役社長：高畠宏一、以下、当社）は、株式会社NTTデータ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：本間 洋、以下：NTTデータ）と協業し、同社が提供している「airpalette® UTM」*をベースにした設備点検用3次元自動航行アプリを開発しました。4月1日より、当社のドローン事業において、通信設備や建物の点検のさらなる効率化、高度化を実現します。

当社は、2017年から本格的にドローン事業を開始し、これまでに、自社保有のドローンによる設備点検や他社ドローンの運航代行など全国で約400フライトを実施しました。

これまで、通信設備や建物を点検する際は、多面的に撮影する必要があることから、一般的な2次元での自動航行ソフトウェアでは対応できず、マニュアル操作での飛行を行うケースが多くありました。

また、マニュアル航行による点検では、高度な飛行スキルを必要とすることや、定期点検を行う場合は飛行するたびにルートが異なるため差分解析しづらいなどの課題がありました。

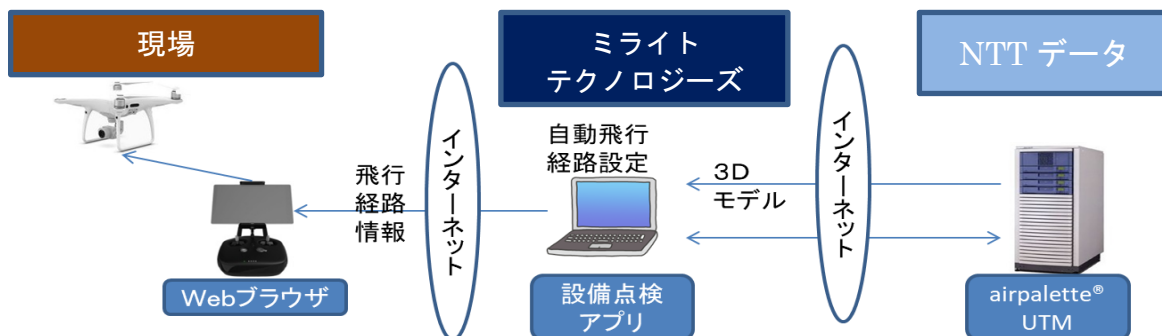
このため、当社は、ドローンの自動航行プラットフォーム「airpalette® UTM」を保有しているNTTデータと協業し、点検対象物の3Dモデルをベースとして、複雑な形状の対象物と一定の離隔を取って自動航行させる設備点検用自動航行アプリの開発および検証を実施しました。

本アプリケーションを利用することにより、建物点検では壁面と屋上の自動での連続撮影が可能となりました。また、表面から同じ高さでの撮影が容易になることから、起伏のあるゴルフコースの点検等にも適用できます。さらに、同一対象物の定期点検では、まったく同じ航路、同じ画角の画像の取得が可能となるため、画像の差分解析といった後工程の作業の効率化、高精度化が期待できます。自動航行であるため、操縦スキルによる画像の品質のバラつきがなく、複雑なフライトでのミスを防ぐことができ、安全性の向上が期待できます。

今後、当社は、本アプリケーションを活用した高度な設備点検業務の取り組みを強化し、3年後には設備点検分野で3億円の売り上げを目指します。

「airpalette®」は、日本、CTM（欧州）、米国、中国における株式会社NTTデータの登録商標です。
（※注）airpalette® UTMとは、NTTデータが提供するドローン運航/交通管理ソフトウェアパッケージです。 airpalette®公式サイト <http://www.airpalette.net/ja/utm>

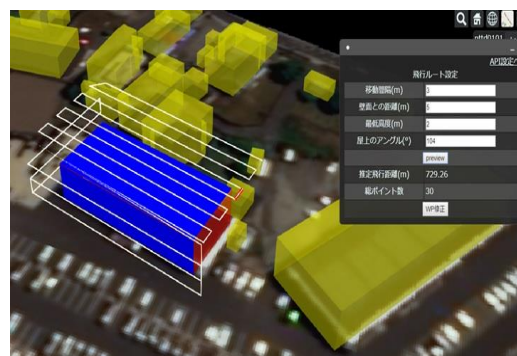
■ システム構成



■ 3Dモデルをベースとした自動航行ルート設定イメージ

○airpalette UTM の基本機能の画面

○建物点検のルート設定例



【本製品に関するお問い合わせ先】
 株式会社ミライト・テクノロジーズ
 アライアンス推進本部 ドローン事業部
 TEL: 03-5496-5851
 FAX: 03-5560-1378
 URL: <https://www.tec.mirait.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社ミライト・テクノロジーズ
 経営企画本部 広報室
 TEL: 06-6446-3363
 FAX: 06-6459-2411
 URL: <https://www.tec.mirait.co.jp/>